

機関名: (地独)北海道立総合研究機構水産研究本部

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 秋田県水産振興センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 山形県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	●底びき網漁業によるホッケの漁獲量が増加、4月は1.7トンで過去10年比234% 5月は5.8トンで過去10年比294%であった。 ●なお、山形県におけるホッケの漁獲の主体は底びき網漁業によるものであり、定置網での漁獲は多くはない。	特になし	特になし	特になし

機関名: 新潟県水産海洋研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	●ホタルイカの不漁 4月528トン(平年比58%) 5月72トン(平年比17%) 6月7.1トン(平年比15%) ●マイワシの豊漁 4月1797トン(平年比244%) 5月1048トン(平年比230%) 6月49トン(平年比181%)	特になし	特になし	特になし

機関名: 石川県水産総合センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 福井県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 京都府農林水産技術センター海洋センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	●マイワシ当歳魚(ヒラゴ)の漁獲量増加:前年同時期の約4倍 ●サワラの漁獲量減少:前年同時期の約1/3	特になし	●昨年の台風の影響で崩れた岩盤の新しい面に、イワガキ稚貝(0才貝)が多く付着している。 ●また、近傍の岩盤の隙間にアワビ稚貝(0才貝)も多く発見されている。	特になし

機関名: 兵庫県農林水産技術センター但馬水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	特になし	●4月上旬:但馬沖の北緯36° 20.2'～37° 20.2'の平均水温は、過去10年平均と比べて水深50mで1.9℃低く、水深100mで3.3℃低い。 ※過去10年平均は4月上旬のデータがない2012、2013、2017年を除く。 ●4月下旬:但馬沖の北緯36° 20.2'～37° 20.2'の平均水温は、過去10年平均と比べて水深50mで1.4℃低く、水深100mで2.1℃低い。 ※過去10年平均は4月下旬のデータがない2008、2009、2013、2014年を除く。	特になし	特になし

機関名: 鳥取県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	【境港旋網】 ●マサバ 例年、1～3月にまとまった水揚げがみられ、4月以降は大幅に減少する傾向にある。しかし、今年は4月以降も好漁が続き、4～6月期の水揚量は近年顕著に水揚量の多かった昨年同時期の2倍となる11,051トンとなった。(過去5か年の4～6月期における平均水揚量は1,860トン)	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県栽培漁業センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥根県水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 山口県水産研究センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成30年 4月～6月	●棒受・すくい網(長門地区、萩地区)では、昨年までほとんど水揚げされなかったマイワシ(ヒラゴ、全長10cm以下)が5月から72トン水揚げされ、同期のカタクチイワシ108トンに迫る勢であった。(長門地区では加工需要がないためヒラゴは漁止めとした上でこの数字。) ●萩卸売市場では中型まき網でマサバ(サバ仔、全長25cm以下)の水揚げが好調で、6月には315トン水揚げされ、主要対象魚種であるマアジの286トンを上回った。	特になし	特になし	特になし